

4

それかゝればと為りて、先生の如助と見

送つて了ふと、一寸用を免る病、
子格にやぬとが、世と云ふ

又知れとす、うらぶが、それこそ、急用の
又、何れにやぬとが、世と云ふ

騰写物ふと命咄つて、
九、漢をこころ

これ心付らる。

午、午学復から帰ると、先生はもう疾し、
後、

つておて、祈の席りを信まねこやう、用を

咄咄けよ。それ、印便とわして来いの、や

れ、字、何と買つて来いのと、
字、流るる人、来を、

の、字、買物とす、
字、吉他、

特別
14
2090
2(4)
3

十、中、

に於てもきりしれり。ゆとして兼用ぶと

れいせむ用

さうして、而の夜に

かてふぬとて、業社常くんどりまむ修業。

使ふやうにして、林塔をたて、へつし

事つくし、床よりうら

りつて夜の小丸のつりて来りしものあり。

傍にさしあやせいで

でういふで、内での次ぶが、こゆる中へ茶業

てんさい

葉竹

晩山。漸く刑伝講我も一枚も戻いか張まる

作、(し) 飛たう、も来り。間えん取もしてあら

はんかう、い次に兼出、(い) さ又だり。和

のい辞候、(い) 候は、宗ゆの物流、(い) 候とぞ

て、為し喧嘩しく言えり、くれど、せうい

ナノ中 昭和四十四年

特別
14
2090
2(4)
4

一書(書)のつは

文は之を小ない、比何の権し小者日也

大子(子)とある。此(此)は(は)...

と、先生名刺と一又して、而と辨めて、居

うと言つころといふ、
所(所)を(を)大(大)人(人)と(と)い(い)ふ(ふ)は(は)...

つと亡共して、用(用)の(の)ま(ま)あ(あ) 木取人(木取人)と(と)い(い)ふ(ふ)は(は)...

中(中)に(に)あ(あ)る(る)は(は)...

此(此)は(は)...

此(此)日(日)...

い(い)か(か)ら(ら)...

小(小)人(人)...

て(て)...

特別 14 2090 2(4) 6

8

と来。 和書と
と来。 和書と
と来。 和書と

ら、 和書と
ら、 和書と
ら、 和書と

つ、 和書と
つ、 和書と
つ、 和書と

か、 和書と
か、 和書と
か、 和書と

ア、 和書と
ア、 和書と
ア、 和書と

の、 和書と
の、 和書と
の、 和書と

の、 和書と
の、 和書と
の、 和書と

の、 和書と
の、 和書と
の、 和書と

の、 和書と
の、 和書と
の、 和書と

の、 和書と
の、 和書と
の、 和書と

特別
14
2090
2(4)

十八号

9

Handwritten text at the top of the page, possibly bleed-through from the reverse side.

Vertical handwritten text on the left margin, including the characters 'おのれ' and 'おのれ'.

Main body of handwritten text in vertical columns within a blue-lined grid. The text is dense and appears to be a formal letter or document.

Vertical handwritten text on the right side of the main grid.

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or additional notes.

特別
14
2090
2(4)
8